

インフォメーションディスプレイ Vol.11



マイクロソフト
株式会社
RE&Fプログラム
マネージャー
長坂 将光 様

マイクロソフト株式会社 様

東京都渋谷区代々木に本社を置くマイクロソフト株式会社様は、都内に計4箇所のサテライトオフィスをお持ちです。その中でもいちばん新しいオフィスが、赤坂ガーデンシティ内にある赤坂オフィス。開設は2006年6月で、現在(2006年9月)、2フロアに300名の方々が勤務されています。また、10月には新たに1フロアを増床される予定です。



所在地:港区赤坂

商談をも左右する会議室用ディスプレイとして、
厳しい性能条件をクリアした『PN-655』。
テレビ会議用のモニターとしても活用されています。

PN-655
7台導入
(会議室)

ワークエリアはもちろん、フロアエントランスやコミュニティスペースまで、デザイン性の高いファニチャーで統一されているマイクロソフト様の赤坂オフィス。無駄を省いたシンプルでスタイリッシュなレイアウトに、先進のビジネススタイルが伺われます。

そんなオフィスの一角を占める会議室エリアの各室に、プレゼンテーションツールの一環として導入されたのが『PN-655』です。

「お客様をお迎えしてのプレゼンテーションでは、ディスプレイに映し出された画像そのものが、私たちの商品の一部になることがあります。ディスプレイの性能如何に、商談も影響されると言っていていいでしょう。ですから、ディスプレイの選定にあたっては、クオリティに対して妥協しませんでした。」とおっしゃるのは、管理本部でRE&Fプログラムマネージャーを務められる長坂様。また、会議室エリアとは別の場所に、テレビ会議にも対応されているブースがあります。ここにも1台、『PN-655』が導入されました。



シンプルな操作性を求めて、ディスプレイ用のリモコンも排除した会議室。



テーブル内に引き込まれた端子にパソコンを接続して「SHOW ME」ボタン(黄色の丸いスイッチ)さえ押せば、スタンバイ状態のディスプレイにすぐに画面が出てくる。

導入時の評価ポイント

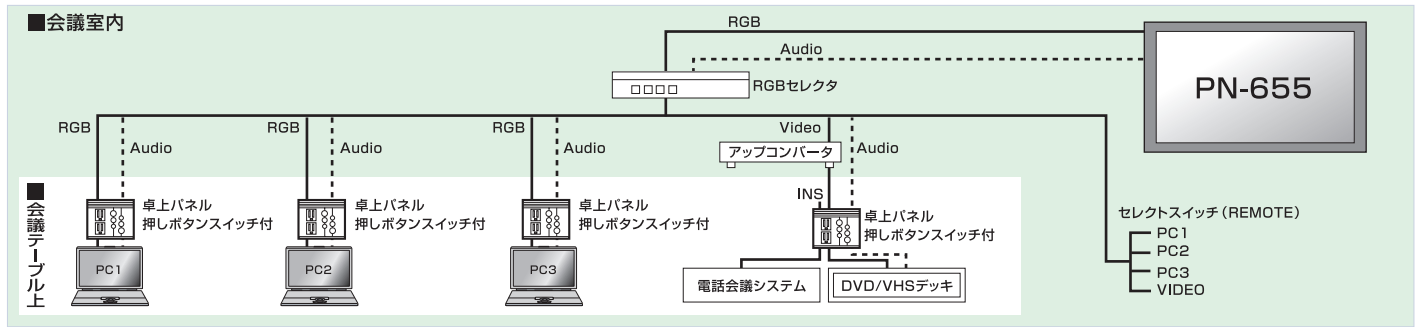
最新設備の会議室にも映える
迫力ある65型の大画面

明るいプレゼンテーションルームで
効果的な表現に優れた低反射と高精細性

液晶ディスプレイだから
赤外線機器への影響がない

会議室の設置に適した
静かなファンレス設計

■ システム概略図



容易なメンテナンス。
さらには赤外線機器にも影響を与えないことが、『PN-655』の導入につながりました。

導入の経緯

マイクロソフト株式会社様では赤坂オフィスの新設にあたり、10～14名用の会議室においては65型ディスプレイの設置を標準化されました。「プロジェクターはメンテナンスの面からみて、ランニングコストがかかります。またプラズマディスプレイも、今回の会議室での使用は難しいかなと想像していました。」と長坂様。先に開設されている他オフィスで、会議中に赤外線ワイヤレスマイクが途切れたり、タブレットPCやマウスが上手く操作できなかつた経験をお持ちです。長坂様は、「原

因は何だろうと探っていた結果、会議室に設置していたプラズマディスプレイから放射されている“赤外線”だと分かり、同様の現象が起きないように、今回のプロジェクトでは液晶ディスプレイに的を絞りました。」とおっしゃいます。その中から満足いくクオリティの高さを備えたディスプレイとして、『PN-655』を選ばれました。



ラウンドテーブルを囲み、12席が用意された会議室。テーブルの4個所に、パソコンを接続するためのアナログRGBとLANの端子が設けられている。そのうちの1個所は、DVDプレーヤーとも接続可能。また、電話会議にも対応できるようなシステムが構築されている。

高精細性や視認性はもちろん、クオリティの高い会議を演出する“静かさ”も『PN-655』の大きなメリット。

導入後の感想

『PN-655』を会議で使い始めて、画面の美しさはもちろんのこと、長坂様はさらに素晴らしい特性を実感したとおっしゃいます。「それは、ファンレス設計の静かさです。会議中は小さな音でも騒音のように感じるもので、この静音性ならクオリティの高い会議にも一役です。画面サイズや再現される色も理想通り。迫力あるプレゼンテーションツ

ルとして、本当に満足です。」また、ペーパーレス会議の利点も挙げられました。「会議のたびに必要部数の資料を出力して用意するとなると、時間も手間もかかります。また、会議直前までデータを手直しできるのも、大型ディスプレイとパソコンを利用した会議システムのメリットです。」



国内外をリアルタイムで結ぶ、テレビ会議室。後方の座席からも明るく鮮明に見える大型ディスプレイとして、『PN-655』が導入されている。

プレゼンテーションでの大きな効果を、『PN-655』で実感。今後は都内各オフィスのディスプレイを順次、時代に即した液晶タイプへ。

今後の展開予定

「新しい技術や商品を提案していくビジネスですから、それを伝える方法も新しくなくてはなりません。プロジェクターでは時代感が問われそうですし、プラズマタイプだと赤外線対策を施しても映り込みが気になりま

す。』『PN-655』のメリットをご実感いただき、都内の各オフィスに液晶ディスプレイを導入していきたいとおっしゃる長坂様。「情報量はますます増えますから、ディスプレイの画素数や高精細性がさらに問われることでし

う。また、コンテンツによっては縦型も魅力。」と、液晶ディスプレイへの関心は高まるばかりのようです。